

青倉神社 春季大祭

朝来市山内/平成31年4月25日

暮らしの中で生きる但馬の民俗芸能を見て歩こうと、おまつり探検隊は但馬各地の民俗芸能や伝統行事を訪ねています。

青倉神社は、標高811mの青倉山の中腹に鎮座する神社で、祭神は少彦名命（スサヒコナミコト）あるいは和久産果神（ワクズビノカミ）。創祀年代は不詳ですが、七世紀中頃に「山岳信仰」の対象として建立されたとの言い伝えがあります。麓にある善隆寺の奥の院とされており、また一説には伊由神社の分霊を祀るとも言われています。伊由市場の交差点には大きな一の鳥居が立っています。

青倉神社のご神体は、巨石。巨石の手前に、珍しい造りの二階建の社殿が立っています。社殿の右手には御神体の裏から湧き出る霊水があり、目の神様として信仰されています。この水には、実際に微量のホウ酸が含まれているという分析結果もあるそうです。昭和前期には、青倉駅から参拝者の長い行列ができ、とても賑わっていたとのこと。春の大祭は、24・25両日行われ、麓の善隆寺には露店が並んで餅まきも行われます。

※一の鳥居から神社までは7キロ以上あり、看板からの山道は特に狭いので、お気をつけください。

- 期 日 平成31年4月25日（木）
- 会 場 朝来市山内権現谷5 青倉神社
納座454-2 善隆寺

- 日 程
- 午前10時00分 現地集合
※探検隊の赤い幟が目印。神社入り口に駐車場あり
- 午前10時30分 解説
- 午前11時 お払い
- 午後3時 お祭り・露店（善隆寺）
- 午後3時30分 餅まき（善隆寺）
- 午後4時 終了・解散

- 解 説 和田 誠さん（青倉神社先達）
- 参加費 会員 300円 会員外 500円 当日現地で徴収します
- ◆参加申込 4月22日（月）までに下記へ申し込んでください

〒668-0024 豊岡市寿町5-9 岡 助吉 電話：0796-22-4386

〒668-0015 豊岡市一日市190 仁木鏡子 携帯：090-9056-3824

〒669-6101 豊岡市城崎町湯島655 松井敬代 携帯：090-8932-8775



むかし話：昔々、おじいさんが山でウドを夢中になって採っていたところ、過って目にウドのトゲをさしてしまった。親孝行の息子はたいそう心配したが、その晩、神様が夢枕に立ち「岩から湧き出る水をつけると治る」とお告げがあった。夜が明けるとすぐ、その水を採りに山々を方々歩き、ようやく巨岩の奥から流れている清水を見つけだした。すぐに持ち帰っておじいさんの目につけると、痛みがみるみる消えていき、目が見えるようになったそう。この言い伝えから、神社の氏子はウドを食べないという。

主催/但馬民俗芸能応援隊

後援/但馬夢テーブル委員会

但馬民俗芸能応援隊は民俗芸能の復活・継承を願う自主的・自発的な活動団体です。新しい地域づくりを目指す但馬夢テーブル委員会から平成16年に生まれました。おまつり探検隊のほか、但馬民俗芸能の保存・継承を考えるフォーラムや但馬子ども民俗芸能祭などに取り組んでいます。年会費千円。どなたでも入会できます。会員募集中